

【留意事項】

- 運用容量値は、電圧や系統安定度などの制約により、変わる場合があります。備考欄をご参照願います。
 - ※1 1回線送電線のため1回線設備容量を記載
 - ※2 1回線故障時の電圧抑制や系統切替を前提に時間を限定して使用できる設計上の熱容量を考慮
- 空容量は目安であり、系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、空容量が変更となる場合があります。
- 原則として熱容量に基づき空容量を記載しております。その他の要因(電圧や系統安定度など)で連系制約が発生する場合があります。
- N-1電制適用可否欄には、熱容量制約の解消を目的とした当該設備へのN-1電制の適用可否の目安を記載しております。系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、適用可否が変更となる場合があります。適用不可の場合の理由は以下のとおりです。
 - ※1 基幹系ループ系統のため
 - ※2 1回線送電線のため
 - ※3 系統安定度制約のため
- N-1電制適用可能量欄には、熱容量制約の解消のため当該設備にN-1電制を適用した場合の適用可能量(上位系考慮なし)の目安を記載しております。系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、適用可能量が変更となる場合があります。
- 発電設備等が連系する変圧器によっては、別途バンク逆潮流対策が必要になる可能性があります。
- 3年以内に増強した系統へ連系する場合は、空容量の範囲内であっても、増強工事費の一部を負担いただくことがあります。
- 既設電源アクセス線に新規電源が連系する際、系統増強が必要になる場合があります。詳細については、系統アクセス検討の中でお示しします。
- ※電力広域的運営推進機関が公表している「系統の接続および利用ルールについて～ノンファーム接続～」でも、新規電源連系時のアクセス線等の取扱いが整理されています。
 - https://www.occto.or.jp/grid/business/setsuzoku.html#non-firm
- 社会的に影響を与えることが懸念される重要施設への供給系統に関する情報や、電力供給契約が特定できるような第三者情報などについては、公開しておりません。
- 個々の電源の運転状況や需要者の電力使用状況が推測可能な電源線や専用線等であり、設備容量、運用容量、N-1電制可否、N-1電制可能量を非公開とする設備は、備考欄に「◇」を記載しております。
- (1) 平常時出力制御が必要となりうる設備欄は、平常時出力制御が発生する可能性について、想定潮流の合理化の考え方に基づいた将来の発電機出力・電力需要から想定し、該当設備を記載しております。
 - ※ https://www.occto.or.jp/access/oshirase/2017/180330_souteichoryu_gourka_shiryuu.html

2023年11月6日 更新

送電線 No	送電線名	電圧 (kV)	回線数	設備容量 (100%×回線数)	運用容量値 (MW)	運用容量制約要因	空容量(MW)		N-1電制適用可否	N-1電制適用可能量 (MW)	平常時出力制御の可能性	平常時出力制御が必要となりうる設備		備考
							当該設備	上位系等考慮				当該設備	上位系設備	
H001	朝日小川線	154	1	76	76	熱容量	18	0	不可 #2	-	有り	-	H012.H104.H105	※1
H002	新栄本黒部線	154	2	272	136	熱容量	78	0	不可 #2	-	有り	-	H012.H104.H105	
H003	黒部江口線	154	2	272	206	熱容量	49	0	可	66	有り	-	H012.H104.H105	※2
H004		154	2			熱容量	136	0			有り	-	H012.H104.H105	◇
H005	東魚津支線	154	1	214	214	熱容量	214	0	不可 #2	-	有り	-	H012.H104.H105	※1
H006	舟橋江口線	154	2	572	502	熱容量	309	0	可	70	有り	-	H012.H104.H105	※2
H007		154	1			熱容量	15	0			有り	-	H012.H104.H105	◇
H008	折立線	154	1	101	101	熱容量	83	0	不可 #2	-	有り	-	H012.H104.H105	※1
H009	和田川連絡線	154	1	51	51	熱容量	6	0	不可 #2	-	有り	-	H012.H104.H105	※1
H010	有峰幹線(山)	154	2	304	238	熱容量	63	0	可	66	有り	-	H012.H104.H105	※2
H011	有峰幹線(里)	154	2	428	350	熱容量	46	0	可	78	有り	-	H012.H104.H105	※2
H012	舟橋線	154	2	684	469	熱容量	0	0	可	178	有り	対象	H104.H105	※2
H013	栃尾線	154	1	101	101	熱容量	73	0	不可 #2	-	有り	-	H104.H105	※1
H014	葛山線	154	1	123	123	熱容量	70	0	不可 #2	-	有り	-	H104.H105	※1
H015	中部連絡線	154	1	101	101	熱容量	101	0	不可 #2	-	有り	-	H104.H105	※1
H016	東町支線	154	2	246	123	熱容量	88	0	可	123	有り	-	H104.H105	
H017	見座線	154	2	246	183	熱容量	45	0	可	63	有り	-	H104.H105	※2
H018	牧線	154	2	308	238	熱容量	59	0	可	70	有り	-	H104.H105	※2
H019		154	1			熱容量	1	0			有り	-	H104.H105	◇
H020	神通第一線	154	2	246	123	熱容量	29	0	不可 #2	-	有り	-	H104.H105	
H021		154	2			熱容量	145	0			有り	-	H104.H105	◇
H022	有峰第一線	154	2	536	456	熱容量	67	0	可	80	有り	-	H104.H105	※2
H023	北笹津線	154	2	1014	760	熱容量	760	0	可	250	有り	-	H104.H105	※2
H024	富南線	154	2	536	268	熱容量	268	0	不可 #2	-	有り	-	H104.H105	
H025	新富山北笹津線	154	2	1030	751	熱容量	74	0	可	250	有り	-	H104.H105	※2
H026	富山線	154	2	890	668	熱容量	90	0	可	222	有り	-	H104.H105	※2
H027	火力富山線	154	2	1000	729	熱容量	304	0	可	250	有り	-	H104.H105	※2
H028		154	1			熱容量	25	0			有り	-	H104.H105	◇
H029	草島新港線	154	2	1014	735	熱容量	361	0	可	250	有り	-	H104.H105	※2
H030	火力塚原線	154	2	572	286	熱容量	231	0	不可 #2	-	有り	-	H104.H105	
H031	富山新港火力線	154	2	1180	590	熱容量	226	0	可	250	有り	-	H104.H105	
H032	塚原線	154	2	536	463	熱容量	61	0	可	73	有り	-	H104.H105	※2
H033		154	1			熱容量	38	0			有り	-	H104.H105	◇
H034	塚原伏木線	154	2	1014	507	熱容量	507	0	不可 #2	-	有り	-	H104.H105	
H035		154	1			熱容量	185	80			-	-	-	◇
H036		154	1			熱容量	99	80			-	-	-	◇
H037		154	1			熱容量	38	38			-	-	-	◇
H038	新能登線	154	2	536	268	熱容量	268	80	不可 #2	-	-	-	-	
H039	中能登新能登線	154	2	1072	925	熱容量	601	80	可	147	-	-	-	※2
H040	風至線	154	2	536	268	熱容量	0	0	可	0	-	-	-	
H041	南福岡線	154	2	536	463	熱容量	332	0	可	73	有り	-	H104.H105	※2
H042		154	2			熱容量	25	0			有り	-	H104.H105	◇
H043	北金沢線	154	2	536	463	熱容量	332	0	可	73	有り	-	H104.H105	※2
H044	御所線	154	2	968	484	熱容量	470	470	可	250	-	-	-	※2
H045	南金沢線	154	2	1708	1,326	熱容量	926	601	可	250	-	-	-	※2
H046	笠間線	154	2	1014	811	熱容量	811	601	可	203	-	-	-	※2
H047	新小松線(北金沢)	154	2	428	214	熱容量	214	214	不可 #2	-	-	-	-	
H048		154	2			熱容量	105	105			-	-	-	◇
H049	新小松線(新小松)	154	2	428	350	熱容量	350	350	可	78	-	-	-	※2
H050	手取幹線	154	2	536	463	熱容量	96	96	可	73	-	-	-	※2
H051	第二福井火力線	154	2	536	268	熱容量	0	0	不可 #2	-	有り	対象	-	
H052	福井火力線	154	2	856	699	熱容量	95	95	可	157	-	-	-	※2
H053	北庄線	154	2	856	699	熱容量	171	171	可	157	-	-	-	※2
H054	松岡連絡線	154	2	536	462	熱容量	181	181	可	74	-	-	-	※2
H055	九頭電幹線	154	2	428	214	熱容量	48	48	不可 #2	-	-	-	-	
H056		154	2			熱容量	99	48			-	-	-	◇
H057	福井幹線	154	2	270	135	熱容量	135	135	不可 #2	-	-	-	-	
H058	北庄丹生線	154	2	536	268	熱容量	268	268	不可 #2	-	-	-	-	
H059	新武生丹生線	154	2	536	462	熱容量	462	277	可	74	-	-	-	※2
H060	南条新武生線	154	2	2026	1,142	熱容量	1142	277	可	250	-	-	-	※2
H061	敦賀線	154	2	308	154	熱容量	21	21	不可 #2	-	-	-	-	
H062		154	2			熱容量	106	106			-	-	-	◇
H063	御所北金沢支線	154	2	832	416	熱容量	416	0	不可 #2	-	有り	-	H104.H105	
H101		275	2			熱容量	91	91			-	-	-	◇
H102		275	2			熱容量	173	102			-	-	-	◇
H103		275	2			熱容量	535	0			有り	-	H104.H105	◇
H104	新富山幹線	275	2	1320	990	系統安定度	0	0	不可 #3	-	有り	対象	-	※2
H105	中央幹線	275	2	1320	990	系統安定度	0	0	不可 #3	-	有り	対象	-	※2
H106	加賀東金津線	275	2	1320	1,040	熱容量	680	680	不可 #1	-	-	-	-	※2
H107	東金津新福井線	275	2	1320	1,040	熱容量	731	731	不可 #1	-	-	-	-	※2
H108	越前線	275	2	1808	1,447	熱容量	1132	1,132	不可 #1	-	-	-	-	※2
H109	南条越前線	275	2	1808	1,447	熱容量	295	295	可	250	-	-	-	
H110	敦賀火力線	275	2	1808	1,447	熱容量	321	295	可	250	-	-	-	
H201		500	2			熱容量	1986	1,986			-	-	-	◇
H202	能登幹線	500	2	6580	5,265	熱容量	3534	2,767	不可 #1	-	-	-	-	※2
H203	能越幹線	500	2	6580	5,265	熱容量	4032	2,767	不可 #1	-	-	-	-	※2

送電線 No	送電線名	電圧 (kV)	回線数	設備容量 (100%×回線数)	運用容量値 (MW)	運用容量 制約要因	空容量(MW)		N-1電制適用 可否	N-1電制 適用可能量 (MW)	平常時 出力制約の 可能性	平常時出力制約が 必要となる設備		備考
							当該設備	上位系等考慮				当該設備	上位系設備	
H204	加賀福光線	500	2	6580	5,265	熱容量	4332	2,767	不可 #1	-	-	-	-	※2
H205	加賀幹線	500	2	5568	4,541	熱容量	2767	2,767	不可 #1	-	-	-	-	※2